

平成 1 8 年度 農作物病害虫発生予察 1 1 月月報

平成 1 8 年(2006年) 1 2 月 4 日
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

I 気象概況

山口市大内御堀

月・半旬	気 温 (°C)								
	9 時			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
11.1	13.5	12.1	1.4	22.9	19.6	3.3	9.5	7.4	2.1
11.2	13.7	12.0	1.7	19.8	18.8	1.0	9.8	7.7	2.1
11.3	11.0	10.5	0.5	15.9	17.2	△ 1.3	6.4	6.5	△ 0.1
11.4	9.3	9.1	0.2	14.1	16.1	△ 2.0	4.9	5.3	△ 0.4
11.5	10.4	7.5	2.9	16.4	14.8	1.6	7.4	3.5	3.9
11.6	12.1	6.8	5.3	15.8	13.6	2.2	8.2	3.1	5.1
平均・計	11.7	9.7	2.0	17.5	16.7	0.8	7.7	5.6	2.1
月・半旬	湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	11.1	—	92.0	—	0.0	13.2	△ 13.2	46.0	28.5
11.2	—	90.9	—	6.5	12.1	△ 5.6	9.7	24.4	△ 14.7
11.3	—	94.8	—	—	14.3	—	6.1	22.4	△ 16.3
11.4	99.4	92.2	7.2	29.0	13.8	15.2	18.3	22.1	△ 3.8
11.5	90.2	95.3	△ 5.1	8.0	12.2	△ 4.2	13.4	23.4	△ 10.0
11.6	96.5	92.6	3.9	16.5	11.6	4.9	15.7	19.8	△ 4.1
平均・計	95.4	93.0	2.4	60.0	77.2	△ 17.2	109.2	140.6	△ 31.4

注) 11月 1 日～14日の間は気象ロボット不調のため、アメダスデータで補った。
この間の湿度及び 3 半旬の降水量については補えるデータがないため欠測。

II 作物の生育状況

- (1) カンキツ : 果実肥大は平年並み～やや小さく、着色は平年並みであった。
- (2) キャベツ・ハクサイ : 中山間地域では生育は良好、沿岸部地域では一部乾燥により小玉化傾向が見られた。
- (3) イチゴ : 生育は良好で、収穫開始期は平年並みであった。
- (4) はなっこりー : 生育は良好であった。

Ⅲ 病害虫の発生概況

1 果樹

2006年11月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率54.5% (平年35.0%)、寄生葉率2.0%(平年3.5%)、 10葉当たり雌成虫数0.3頭(平年0.7頭) で平年並みであった。	県内全域	少 1,036
ヤノ初カラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.0% (平年14.0%)、寄生果率0.1%(平年0.5%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 173
ナマルカカラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年8.6%)、寄生果率0.1%(平年0.4%) で平年並みであった。	県内全域	少 86

2 野菜

2006年11月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ (調査ほ場数:5) 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年22.9%)、発病株率0%(平年2.5%)、発 病度0(平年1.0)で平年並みであった。	—	—
白斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年15.8%)、発病株率0%(平年5.9%)、 発病度0(平年2.9)で平年に比べ少なかった。	—	—
べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年71.2%)、発病株率20.0%(平年45.6%) 、発病度5.0(平年13.9)で平年に比べ やや少なかった。	県内全域	中 20
黒斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年57.0%)、発病株率1.6%(平年13.1%) 、発病度0.4(平年4.1)で平年に比べ やや少なかった。	県内全域	少 20
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年15.1%)、10株当たり虫数43.4頭 (平年22.8頭)で平年に比べやや多かっ た。	県内全域	中 20 少 21 計 41
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年11.2%)、寄生株率0%(平年0.4%)で 平年に比べやや少なかった。	—	—
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (平年9.2%)、10株当たり虫数0.6頭(平 年0.4頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 61
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年16.4%)、寄生株率2.0%(平年0.8%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 20

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年4.8%)、寄生株率0.4%(平年0.2%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 20
シロイチモジヨ トウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年2.9%)、寄生株率0%(平年0.2%)で平 年並みであった。	—	—
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年3.0%)、10株当たり虫数0頭(平年0.1 頭)で平年並みであった。	—	—
キャベツ (調査ほ場数:11) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1% (平年36.2%)、発病株率0.9%(平年4.8%)、発病度0.2(平年1.3)で平年に比べや や少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年34.5%)、発病株率0%(平年5.3%)、発 病度0(平年1.3)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 16
菌核病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年11.3%)、発病株率0%(平年0.4%)で 平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年11.5%)、発病株率0%(平年0.7%)で 平年に比べやや少なかった。	—	—
萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1% (平年10.2%)、10株当たり虫数0.2頭(平 年0.3頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1% (平年5.4%)、10株当たり虫数0.2頭(平 年0.2頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 16
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率54.6% (平年22.4%)、10株当たり虫数2.0頭(平 年1.2頭)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率54.6% (平年31.0%)、10株当たり虫数0.8頭(平 年2.1頭)で平年並みであった。	県内全域	少 96

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率36.4% (平年12.0%)、寄生株率1.2%(平年0.5%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% (平年5.9%)、寄生株率0.5%(平年0.2%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 64
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率90.9% (平年24.5%)、寄生株率5.1%(平年1.2%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率63.6% (平年15.6%)、寄生株率5.3%(平年0.4%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 32 少 128 計 160
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率45.5% (平年14.9%)、寄生株率2.5%(平年0.6%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率63.6% (平年15.5%)、寄生株率3.1%(平年0.7%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 48 少 64 計 112
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率54.6% (平年20.8%)、寄生株率1.1%(平年0.9%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率63.6% (平年11.1%)、寄生株率2.9%(平年0.7%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 48 少 64 計 112
シロイチモジヨ トウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1% (平年0%)、寄生株率0.2%(平年0%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率36.4% (平年2.1%)、寄生株率0.07%(平年0.03%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 64
ハイマダラノメ イガ	中旬の巡回調査では、発生は認められ ず、平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年2.1%)、寄生株率0%(平年0.04%) で平年並みであった。	—	—

注1) 11月下旬のキャベツの菌核病は過去9年間の平均値を平年値とした。

注2) キャベツのシロイチモジヨトウ、ハイマダラノメイガは過去8年の平均値を平年値とした。

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イチゴ (調査ほ場数:42) 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0% (平年1.5%)、発病株率2.2%(平年0.03%)、 発病果率0.5%(平年0.01%)で平年に 比べ多かった。	県内全域	甚 3 少 19 計 22
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.4% (平年29.2%)、発病株率4.8%(平年5.8%)、 発病葉率2.7%(平年2.9%)、発病果 率0.3%(平年0.1%)で平年並みであっ た。	県内全域	多 8 少 17 計 25
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1% (平年3.5%)、発病株率0.2%(平年0.2%))で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 8
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年1.0%)、発病株率0.7%(平年0.02%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多 2 少 3 計 5
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8%(平年1.0%)、発病株率0.1%(平年0.02%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 5
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.2% (平年30.5%)、寄生株率8.5%(平年6.2%) で平年に比べやや多かった。 優占種はワタアブラムシであった。	県内全域	甚 5 中 8 少 17 計 30
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.8% (平年12.0%)、寄生株率7.2%(平年2.0%) で平年に比べ多かった。 優占種はナミハダニであった。	県内全域	多 16 中 8 少 31 計 56
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年19.0%)、寄生株率0.8%(平年1.5%) で平年並みであった。	県内全域	中 5 少 14 計 19
はなっこりー (調査ほ場数:5) 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率20% (前年40.0%)、発病株率5.6%(前年7.2%) で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (前年40.0%)、発病株率2.4%(前年4.0%) で前年に比べ少なかった。	県内全域	少 1
べと病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず、前年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
はなっこりー モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (前年60.0%)、10株当たり虫数1.0頭(前年1.4頭)で前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (40.0%)、10株当たり虫数1.0頭(前年1.2頭)で前年並みであった。	県内全域	少 5
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (前年40.0%)、10株当たり虫数1.2頭(前年0.6頭)で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (前年60.0%)、10株当たり虫数1.0頭(前年0.8頭)で前年並みであった。	県内全域	少 5
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率80.0% (前年60.0%)、寄生株率4.4%(前年2.4%)で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (前年0%)、寄生株率3.2%(前年0%)で前年に比べ多かった。	県内全域	中 5 少 5 計 10
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (前年60.0%)、寄生株率8.8%(前年4.8%)で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (前年80.0%)、寄生株率8.0%(前年3.2%)で前年に比べ多かった。	県内全域	中 3 少 10 計 13
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (前年40.0%)、寄生株率1.2%(前年3.6%)で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (前年60.0%)、寄生株率1.2%(前年6.4%)で前年に比べ少なかった。	県内全域	少 8
シロイチモジヨ トウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (前年0%)、寄生株率1.2%(前年0%)で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (前年0%)、寄生株率0.8%(前年0%)で前年に比べ多かった。	県内全域	少 5
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (前年60.0%)、寄生株率4.4%(前年4.8%)で前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (前年100%)、寄生株率2.0%(前年4.4%)で前年に比べ少なかった。	県内全域	中 5 少 3 計 8

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																												
はなっこりー ハイマダラノメイガ	中旬、下旬の巡回調査とも、発生は認められず、前年並みであった。	—	—																												
アブラナ科野菜 コナガ	山口市大内のフェロモントラップにおける11月の誘殺数は、197頭(平年85頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—																												
野菜全般 ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップにおける11月の誘殺数は、1,310頭(平年1,028頭)で平年並みであった。 10/21～11/20のフェロモントラップ ^o 誘殺数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>概評</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周東町</td> <td>242</td> <td>242</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>2,428</td> <td>1,696</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>313</td> <td>252</td> <td>やや多</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>142</td> <td>135</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>山口市島田</td> <td>2,726</td> <td>2,706</td> <td>前年並</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>2,193</td> <td>2,393</td> <td>前年より少</td> </tr> </tbody> </table> ※阿東町の平年値は過去8年の平均値	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評	周東町	242	242	平年並	周南市	2,428	1,696	平年並	阿東町	313	252	やや多	萩市	142	135	平年並	山口市島田	2,726	2,706	前年並	下関市	2,193	2,393	前年より少	県内全域	—
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評																												
周東町	242	242	平年並																												
周南市	2,428	1,696	平年並																												
阿東町	313	252	やや多																												
萩市	142	135	平年並																												
山口市島田	2,726	2,706	前年並																												
下関市	2,193	2,393	前年より少																												
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる11月の誘殺数は、6頭(平年5.8頭)で平年並みであった。	県内全域	—																												

注) 野菜全般のオオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数は過去8年の平均値を平年値とした。

お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ

電 話 083-927-4006
F A X 083-927-4071
テレホンサービス 083-927-4649

作物 担当者
普通作：野崎(病害) 中川浩二(虫害)
果 樹：藤村(病害) 殿河内(虫害)
野 菜：岡田(病害) 岩本(虫害)
茶 : 中川浩二(病害虫)